

夫婦愛と福祉事業

現代日本の源流 代表的日本人列伝
 第百三十七回 小倉昌男

宅急便の生みの親・小倉昌男は、晩年ヤマト福祉財団を設立して、福祉事業に情熱を注いだ。それはキリスト教徒であった彼の信仰の実践の1つであった。しかし、それだけではない。娘の心の病により、壊れていく家庭。その中でもがき続けた彼が辿り着いた、夫婦愛の1つの形でもあった。

障害者福祉に 貢献

東日本大震災(2011年)の翌年、ヤマト福祉財団は世間を驚かせた。2011年7月から1年間、ヤマト運輸が扱った宅急便1個につき10円を被災地に寄付すると発表した。総額約143億円が寄付された。

決断したのはヤマトホールディングス社長の木川眞一だ。その決断に当たって、木川は、7年前に亡くなった妻の遺志を思い出した。小倉昌男の創業から、大震災の際、「小倉さんだっから、どうするだろうか。きつこの決断を認めてくれるだろうと思つたと語っている。

小倉昌男はクロネコヤマトで知られる宅急便システムを創設した人物で、「宅急便の父」と呼ばれている。郵便以外の物流インフラを日本で初めて作り上げたから、この小倉が後年、社会福祉のためにヤマト福祉財団を設立していたのである。小倉は1924

壊れていく家庭

宅急便の父

年12月13日、東京の代々木で生まれた。父は大和運輸の創業家小倉康臣、手車からバス、手動販売機、自動車による運送会社を設立した典型的な叩き上げの人物であった。気性の激しい父とは対照的に、母はなほ地味で控えめで、どんなことでも我慢する女性だった。その母は昌男が幼い時に亡くなり、再婚した母もすぐに亡くなってしまった。昌男は寂しい少年時代を過ごしたのである。

夏から。地域の酒屋に取次を委託し、料金は細かい距離ごとにせず、地域ブロックごとにした。彼が最も重視したのは、「利用者の立場でものを考える」ということ。「サービスが先、収益は後」の二つ。これは経営者としての小倉が生きてきたことでもあった。

1976年1月にスタートした宅急便の初年度は取扱量は170万個を越えた。毎年倍々伸ばす。80年代後半には経常利益が前年比の3倍以上

登録拒否。母への悪態は成人になっても続いた。こうして日々の中、とうとう妻の心身が触れられ、娘は尋常ではなかった。時には怒りの矛先を運輸省にすら向けたため、運輸省から蛇蝎のごとく嫌われた。大量のデータに基づき、理路整然と語る小倉は、煙たい存在だった。こんな小倉を尊敬を込めて「学者」と呼んでいた。「親分」と呼

1990年1

「宅急便ビジネス」小倉昌男が宅急便という新ビジネスを模索し始めたのは、理由があった。1960年代後半、長距離輸送に出遅れていた大和運輸は、年々利益率が下がりに「危ない会社」と言われていた。

経営陣に入っていた小倉は、新しい方向性を模索せざるを得なかった。徹底的な研究の後、出した結論が宅急便ビジネスだった。一般家庭の荷物を集めて配送するという。

前年比の3倍以上

家族の犠牲

しかし、小倉の事業面での華々しい成功は、家庭の犠牲の上に成り立っていたことも事実であった。この時期、小倉は仕事を優先させること、家庭を顧みることが荒れに荒れた。長女が荒れに荒れた。元来が父親っ子だった娘だが、その父が多忙で不在も多かった。母親は弟を依怙屋扱い、不満と怒りに満ちた目つきで小倉を見つめた。小倉は母親の感情に萎縮し、先づき母親に話しかけることができなかった。11歳の頃からキレ始めた親戚筋の批判の矛先は娘に向けられた。母親が娘を羨望の眼差しで見ていた。娘は苦悶のあまり、自分を責めた。小倉の妻は、娘の苦悶を察し、娘の心を慰めた。娘は徐々に元気を取り戻し、19歳の時、小倉と結婚した。

1976年1月にスタートした宅急便の初年度は取扱量は170万個を越えた。毎年倍々伸ばす。80年代後半には経常利益が前年比の3倍以上

妻の死と福祉事業

妻は真実を知らなかった。娘が荒れても、妻が黙って耐えていた。小倉は妻を怒らせた。妻は泣きながら小倉の部屋に入った。妻は泣きながら小倉の部屋に入った。妻は泣きながら小倉の部屋に入った。

1990年1

「宅急便の父」と呼ばれている。郵便以外の物流インフラを日本で初めて作り上げたから、この小倉が後年、社会福祉のためにヤマト福祉財団を設立していたのである。小倉は1924

「宅急便の父」と呼ばれている。郵便以外の物流インフラを日本で初めて作り上げたから、この小倉が後年、社会福祉のためにヤマト福祉財団を設立していたのである。小倉は1924

「宅急便の父」と呼ばれている。郵便以外の物流インフラを日本で初めて作り上げたから、この小倉が後年、社会福祉のためにヤマト福祉財団を設立していたのである。小倉は1924

YOKOHAMA DESIGN COLLEGE 「日本語を学ぶから日本語で学ぶへ」
 2年間で専門士をとり日本で就職しよう!
 2016年10月入学 2017年4月入学

就職・進学・デザインの学科
 就職・大学進学したい!
 デザインを勉強したい!

総合日本語科 Comprehensive Japanese
 フレッシュデザイン科
 マンガ科 Manga

横浜デザイン学院
 〒220-0051
 神奈川県横浜市西区中央 1-33-6
 TEL:045-323-0300 FAX:045-323-0302
 手帳:090-9313-6114(中文可)
 MAIL:info@ydc.ac.jp
 WEB:www.ydc.ac.jp

外国人留学生を募集する
学校案内
広告特集

学校法人 読売理工学院
専門学校 読売自動車大学校

自動車整備学科・1級整備学科
2級自動車整備士国家試験合格率が高い!
 平成28年3月卒業の留学生実績 **96%** (44人/46人)
就職率が高い!
 平成28年3月卒業の留学生実績 **84%** (32人/38人) ※就職希望者

★留学生相談会 6月15日(水) 10:00、14:00
 6月29日(水) 10:00、14:00
 ★体験入学に参加しよう!
 6月4日(土)・12日(日)・19日(日) 10:30~15:00
 ★学校見学に行ってみよう!
 月曜から金曜日の10:00~16:00
 ※体験入学・学校見学とも事前に予約が必要です。

学校法人 読売理工学院
読売理工医療福祉専門学校

君もYOMIURIの
建築
電気電子
Web IT
インテリア
放送映像
介護福祉

一度、学校に行って自分の目で確かめよう!
 ★オープンキャンパスに参加しよう!
6月5日(日)・12日(日)・19日(日)
 13:30~16:00
 ★学校見学に行ってみよう!
 月曜から金曜日の10:00~16:00
 ※オープンキャンパス・学校見学とも事前に予約が必要です。